

ハーブで安全なお茶作り

茶園のまわりなどにペパーミントを植えると、チャにはつかないアブラムシ類などの昆虫類を増やし、それらを食べるクモ類などの天敵類を増やすこと（バンカー植物法）ができます。この方法により、チャの新芽に被害をもたらすツマグロアオカスミカメの被害を、化学合成農薬を使わなくても、減らすことができました。



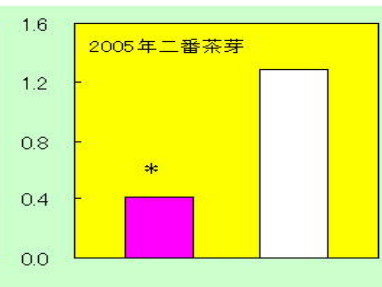
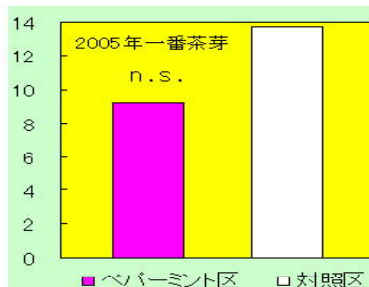
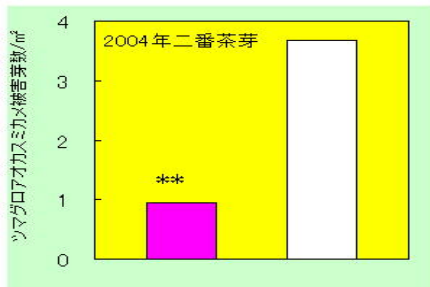
ツマグロアオカスミカメ成虫（左）と被害芽（中）、カスミカメを食べるハエトリグモ



茶園のうね間に植栽したミント

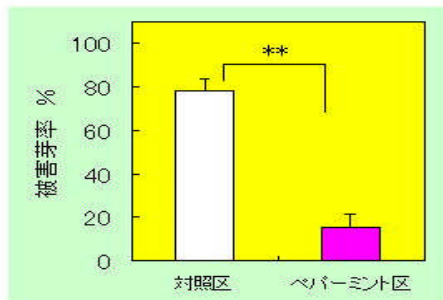


茶園の横に植えたミントの草地帯



茶園のうね間にミントを植えた時の被害抑制

- ・ミントを植えた茶うねでは、カスミカメの被害が少なく、とくに二番芽の被害が少ないことがわかりました。



ミントの草地帯の隣の茶うねの被害抑制

- ・ミントの草地帯の隣の茶うねでは、草地帯の無い茶うねよりもカスミカメの被害が少くなりました。

(茶業特産研究所 栽培担当 TEL 042-936-1351)